

活動名：小野 FC フットサル練習試合
日 程：平成 28 年 11 月 20 日（日）
会 場：小野町屋内人工芝場
参 加：T5 クラス 11 名
 E4 クラス 12 名
帯 同：設楽コーチ

報 告：設楽

小野 FC さんから先日の空港公園杯フットサル大会で練習試合のお誘いをいただき、T5・E4 クラスを対象に練習試合を行いました。

屋外で 8 人制の試合を予定していましたが、前日の雨天でグランドコンディションが悪かったことから今年完成した人工芝の屋内フットサルコートで試合を行うことになりました。

来月から喜多方のフットサル大会に各クラスが出場することから今回の練習試合は良い機会でした。

試合は 23 名のメンバーを 4 チームに構成し、それぞれキャプテンを決めて、交代やポジションなどを自分たちで決めさせ順送りに行いました。

各自好きなポジションもありますが、オフェンス、ディフェンスと交互に行い、またキーパーも交代でやっていました。

自主性と協調性が育まれた練習試合でしたが、フットサルのルールをまだまだ理解していないので、ファールをとられる場面が多々あり、喜多方の蔵のまちフットサル大会までには覚えてほしいと思っております。

各チーム多くの試合を行うことができましたが、あえて相手の 6 年生チームに 5 年生チーム、4 年生チームが挑み、どれくらいできるかを見てみましたが、結構 4 年生チームの方が頑張って得点をしたり、今後が楽しみな場面も見られました。

練習試合なので、参加したメンバー全員が出場し様々なポジションを経験することができたので、勝ち負けに拘ることなく現在の自分の技術が確認できたと思います。

フットサルは個人技が特に必要なプレーが多く、ごまかして試合をすることができません。そのため、「相手からボールを奪う技術」、「ボールを止める技術」、「ボールを蹴る技術」、「ドリブルする技術」、「シュートを打つ技術」などがしっかりとできないと試合にならないため、日々の練習をどれだけ真剣に取り組んでいるかで差が出てきてしまいます。今回参加したメンバーも同年代でも差が見られ、劣っていた子は自分でも頑張らなくてはいけないということに気づいたことでしょう。

その差が出てしまうことの原因に「コーチの話を聞いていない」といったことがあります。コーチング中に他の子とふざけて聞いていない子が残念ながら技術が伸びていないようです。また、「他の子の試合を見ていない」といった学ぶ姿勢がとれない子が

います。まずは、「コーチの話しを聞く姿勢」、「他の試合を見て学ぶ姿勢」がとても大事ですね。

小野FCさん、この度は貴重な練習試合の機会を与えていただき有難うございました。また、機会がありましたら宜しくお願いいたします。

コーチ：設楽



